

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2019-37336(P2019-37336A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-159793(P2017-159793)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月1日(2020.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

枠体と、

前記枠体に対して着脱可能な遊技盤と、

前記枠体に対して着脱可能に設けられ、遊技の進行に伴う遊技演出において前記枠体に
対して動作可能な演出可動体を有して構成される演出実行手段と、

前記演出実行手段が前記遊技盤と対応するか否かを判別可能な判別手段と、

前記判別手段により対応しないと判別された場合に、その旨を報知する報知手段と、
を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、遊技に支障をきたすといった問題の解消に寄与することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の手段を探ることとした。

すなわち、手段1の遊技機は、

枠体と、

前記枠体に対して着脱可能な遊技盤と、

前記枠体に対して着脱可能に設けられ、遊技の進行に伴う遊技演出において前記枠体に
対して動作可能な演出可動体を有して構成される演出実行手段と、

前記演出実行手段が前記遊技盤と対応するか否かを判別可能な判別手段と、
前記判別手段により対応しないと判別された場合に、その旨を報知する報知手段と、
を備えることを要旨とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

以上の本発明によれば、遊技に支障をきたすといった問題の解消に寄与することが可能である。